

(1) つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト（県市町連携）※事業期間：令和元年度～令和5年度

中長期的な視点で移住を捉え、段階的に地域との関係性を深めていき、移住に向けた階段を一步一步登ることを可能とする環境を整備します。

また、茨城県の強みである東京圏との近接性を活かし、ローカル志向を持つ東京圏の人材に、「しごと」を変えずに地域との多様な関わりの機会を提供することにより、新たな「しごと」が創出される仕組みを構築します。

さらに、民間の地域コーディネーター等を介した支援体制（中間支援プラットフォーム）を構築し、「ひと」と「ひと」、「ひと」と「しごと」のつながりを持続可能なものとします。

KPI（重要業績評価指標）	基準値	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	目標値 (令和5年度)	現在の 達成率
① 移住者数・二地域居住者数	事業実施前 202人	令和元年度 298人	令和2年度 440人	令和3年度 673人	令和4年度 773人	令和5年度 1,401人	692人	202.5%
※参考値 若者移住者数（鉾田市）	事業実施前 25人	令和元年度 25人	令和2年度 33人	令和3年度 103人	令和4年度 166人	令和5年度 183人	150人	122.0%
② この事業により創出される 「関係人口」数	事業実施前 10,770人	令和元年度 12,853人	令和2年度 14,553人	令和3年度 16,853人	令和4年度 20,053人	令和5年度 21,309人	24,770人	86.0%
※実績値 関係人口数（鉾田市）	事業実施前 43人	令和元年度 29人	令和2年度 65人	令和3年度 95人	令和4年度 104人	令和5年度 123人	200人	61.5%
③ 東京圏のフリーランス等による 新たな「しごと」の創出件数	事業実施前 0件	令和元年度 15件	令和2年度 21件	令和3年度 29件	令和4年度 49件	令和5年度 83件	85件	97.6%

※上記①～③は、プロジェクト全体（県市町連携）のKPIの進捗状況です。

鉾田市の令和元年度の実施内容	鉾田市の令和2年度の実施内容	鉾田市の令和3年度の実施内容	鉾田市の令和4年度の実施内容	鉾田市の令和5年度の実施内容
関係人口の創出・深化 新たな「しごと」を創出する仕組みの構築 ・多様な関わりの機会を提供【委託料等】 3,180,760円（内、交付金1,590,380円） 本市の地域資源と地域内外の人を有機的に結びつけ、チャレンジが継続して起こる状態をつくるため、地域おこし協力隊員※等を活用した地域住民や地元高校生と首都圏大学生等との交流を深める枠組みを検討しつつ、「関係人口」の増加を図る。また、地域課題解決のためのアイデアソンの開催などにより、「関係人口」が本市の地域資源の価値を掘り起こす機会を提供し、関係性の深化を図り、地場産業の新たな担い手となることを後押ししていく。	関係人口の創出・深化 新たな「しごと」を創出する仕組みの構築 ・多様な関わりの機会を提供【委託料等】 12,705,000円（内、交付金6,352,500円） 前年度検討した枠組による「関係人口」との関係性深化を図る上で必要となるコーディネーターの役割を担う人材の養成を図りつつ、地域課題の把握や地域が求める人材と若者とのマッチングを行える環境をつくることで、「関係人口」の支援体制の充実を図る。 また、地域課題解決のためのアイデアソンの開催などにより、「関係人口」が本市の地域資源の価値を掘り起こす機会を提供し、関係性の深化を図り、地場産業の新たな担い手となることを後押ししていく。	関係人口の創出・深化 新たな「しごと」を創出する仕組みの構築 ・多様な関わりの機会を提供【委託料等】 6,237,000円（内、交付金3,118,500円） 前年度に構築した「関係人口」の支援体制の更なる充実を図るとともに、この体制を中心として、地域の課題解決スキルを持つ若者の誘致や育成についての企画・立案・実行を行い、地域の新たな担い手となることを後押ししていくとともに、新しい「技術」、「考え方」を受入れる文化の醸成や地域コミュニケーションの活性化を図っていく。	関係人口の創出・深化 新たな「しごと」を創出する仕組みの構築 ・多様な関わりの機会を提供【委託料等】 5,324,000円（内、交付金2,662,000円） 「関係人口」の拡大・深化を継続して取り組むとともに、鉾田市に關係する高校生や大学生と、地域のキーパーソンや事業者とが関わる地域課題解決プロジェクトに取り組むことにより創出された「関係人口」と、地域住民とが地域の課題解決に向けたコミュニケーションを行える場となりうる中間支援組織の設立について検討していくとともに、企業と関わりをもつことで、技術やノウハウを使った地域課題解決のための実証実験や、地域内での新たな「しごと」の創出を後押しし、新しい「技術」、「考え方」を受入れる文化の醸成や、地域コミュニケーションの活性化を図っていく。	関係人口の創出・深化 新たな「しごと」を創出する仕組みの構築 ・多様な関わりの機会を提供【委託料等】 6,962,000円（内、交付金3,481,000円） 引き続き「関係人口」の拡大・深化を継続して取り組むとともに、鉾田市に關係する高校生や大学生と、地域のキーパーソンや事業者とが関わる地域課題解決プロジェクトを推進していくことにより創出された「関係人口」と、地域住民とが地域の課題解決に向けたコミュニケーションを行える場をより持続的な取組としていくため、中間支援組織の設立を推進していくとともに、企業と関わりをもつことで、技術やノウハウを使った地域課題解決のための実証実験や、地域内での新たな「しごと」の創出を後押ししていくため、企業等との関わりや実証実験を受け入れる体制の構築を図っていく。

（２）「農業と観光のハーモニー」 DAPPE project（銚田市単独）※事業期間：令和２年度～令和６年度

（一社）観光物産協会を設立し、市直売所のリニューアルに併せ、農業・農産物をツールとした観光コンテンツの創出、それらを活用した市内回遊・滞留の仕組みづくり、地域ブランドを活かした商品開発やその販路拡大を進めます。

また、戦略的な情報発信を展開し、観光入込客数の増加を目指すとともに、マーケット・イン思考な農業をつくり、地域の「稼ぐ力」の向上と雇用の創出、さらには、都会の若者をターゲットとした交流事業の実施により都会の若者の移住等に繋がります。

加えて、市内の事業者等と連携し、交流人口の増加や地域活性化の相乗効果を高めるとともに、都市部女性と農業者の交流事業やプロモーションを通じて、都市部女性の取り込みや関係人口拡大を行います。

KPI（重要業績評価指標）	基準値	１年目	２年目	３年目	４年目	５年目	目標値 (令和６年度)	現在の 達成率
① 観光入込客数	事業実施前 1,069,100人	令和２年 829,900人	令和３年 850,900人	令和４年 1,012,600人	令和５年 951,000人	令和６年	1,319,100人	72.1%
② 滞在人口率	事業実施前 0.979倍	令和２年 1.038倍	令和３年 1.028倍	令和４年 1.006倍	令和５年 未判明	令和６年	1.079倍	93.2%
※参考値 滞在人口率（１月～６月）	事業実施前 0.980倍	令和２年 1.034倍	令和３年 1.032倍	令和４年 1.014倍	令和５年 0.988倍	令和６年		
③ 農業産出額	事業実施前 754.1億円	令和２年 640.0億円	令和３年 641.4億円	令和４年 656.0億円	令和５年 未判明	令和６年	779.1億円	84.2%
※参考値 市農業所得	事業実施前 67.0億円	令和２年 51.0億円	令和３年 51.0億円	令和４年 65.0億円	令和５年 71.0億円	令和６年		
④ この事業により創出される 「関係人口」数	事業実施前 0人	令和２年度 9人	令和３年度 95人	令和４年度 104人	令和５年度 297人	令和６年度	260人	114.2%

令和２年度の実施内容 ※総事業費58,216,504円（内、交付金29,108,252円）	令和３年度の実施内容 ※総事業費58,551,253円（内、交付金29,275,626円）
■一般社団法人銚田市観光物産協会の設立、運営に係る経費 令和2年度に一般社団法人として設立。市が管理、農産物生産者が運営をおこなっている農産物直売所さんて旬菜館の整備に併せ、経営サポートを行いつつ、指定管理者の選定に向けた準備、農産物販路拡大等に取り組むと伴に、観光メニュー等将来的な自立に向けた基盤整備を図る。 運営補助金 5,391,742円（人件費 1,911,591円 事務費 3,480,151円） ■観光物産協会設立初度調弁 1,995,092円 本市の特性を活かした「農業・農産物」をツールとした多種多様な観光事業を推進するため、中心的な役割を担う観光物産協会設立に必要な備品等購入費 事務所内備品（机、イス、パソコン、ロッカー等）、事務所内整備（インターネット環境等） ■銚田市地域資源ブランド力向上事業 25,190,000円 ○多種多様な媒体を活用したPR 12,100,000円 ・SNSを積極的に活用したコンテンツの提供や情報発信を行い、メディアへの露出、消費者の関心をひく。 ○農産物のブランド化戦略 10,000,000円 ・メロン、苺を使用したメニューフェアの開催による認知度及び付加価値向上策 ・期間限定ポップアップショップによるSNS拡散策 ○就農意欲の喚起、人材育成、担い手確保 590,000円 ・生産者講演会、生産者研修、就農支援の情報発信強化を実施し、人材育成・担い手の確保を図る。 ・担い手にスポットを充てた動画等を効果的に活用し、就農意欲を向上させる。 ○消費拡大・需要喚起事業 2,500,000円 ・量販店や商業施設での消費宣伝を行うことで、消費拡大を目指す。 ■シティプロモーション事業 10,450,000円 気候や自然に恵まれた本市の魅力を発信するツールを作成し、都市住民に対しプロモーションしていく。また、本市の農産物を活用した農業体験をしながら、生産者と都市部の若者との交流の場づくりを図る。 ・当市の魅力を発信するツールの製作費 9,427,000円 ・都市部女性向け農業体験企画費 1,023,000円 ■農産物直売所「さんて旬菜館」改修 14,996,400円 本市農産物を観光資源として用い地産地消を取組んでいく中、農産物の販売や本市を訪れる観光客に食材、食文化を紹介することで「観光×農業」の付加価値を高めるとともに、新たなブランド商品の開発、販売を見据え、さんて旬菜館直売部会が運営している農産物直売所「さんて旬菜館」にイートインコーナーを整備する。 ■備品購入費 193,270円 イートインコーナー備品（イス、テーブル等）	■一般社団法人銚田市観光物産協会の運営に係る経費 19,776,253円 当協会の本格的始動年度とし、銚田市の強みである農業を最大限活かした農業体験などの農業×観光レジャーのツアー等を商品化し、国内観光客の誘客に向け検討、実施。また、直売所の指定管理の開始に向けた準備。農産物通信販売や新たなブランド商品の開発、商品化の実施に向けた準備。 運営補助金 19,776,253円 （人件費 13,526,253円 事務費 6,250,000円） ■銚田市地域資源ブランド力向上事業 27,885,000円 ○メディアへの露出・消費者の関心をひくキャンペーンの企画・運営 7,965,000円 ・インフルエンサー等を活用したPRキャンペーン ○農産物のブランド化戦略 9,995,000円 ・有名シェフ監修により、話題性や付加価値を高めた農産物ポップアップストアの開設 ・商業施設、飲食店と連携したメニューフェアによる認知度及び付加価値向上策 ○就農意欲の喚起、人材育成、担い手確保 4,938,500円 ・市内学生向け食育事業の企画運営による「シビックプライド」の啓発 ・生産者講演会、生産者研修、就農支援の情報発信強化を実施し、人材育成・担い手の確保を図る。 ○消費拡大・需要喚起事業 4,986,500円 ・生産者と連携した消費宣伝を行うことで、消費拡大を目指す ・販売促進資材の企画及び製作 ■シティプロモーション事業 10,890,000円 前年に作成したツールに加え、実際に移住した若者の自分らしい暮らし方や働き方に特化した動画を作成し、都市住民に対しプロモーションしていく。また、農業に興味を持つ都市部の若い女性と農業者が直接交流する事業を検討・実施し、交流人口の拡大を図る。 ・若者女性に特化した動画製作費 9,801,000円 ・都市部女性と農業者の交流事業費 1,089,000円

令和４年度の実施内容 ※総事業費53,780,110円（内、交付金26,890,055円）	令和５年度の実施内容 ※総事業費53,780,131円（内、交付金26,890,065円）
■一般社団法人銚田市観光物産協会の運営に係る経費 21,000,000円 直売所の指定管理。新たなブランド商品販売、市の特性を生かした、農業・観光を組み込んだツアーの商品販売を実施。オンライン等を活用したコロナ禍における新たな生活様式に対応した事業展開を図っていく。 運営補助金 21,000,000円（人件費 14,500,000円 事務費 6,500,000円） ■銚田市地域資源ブランド力向上事業 27,830,000円 ○メディアへの露出、消費者の関心をひくキャンペーンの企画・運営 12,385,000円 ・前年の反省を踏まえた、より効果的かつ高度なキャンペーンの実施 ○農産物のブランド化戦略 6,450,000円 ・食品メーカーとのコラボ商品開発に向けた企画 ・有名シェフ監修により、話題性や付加価値を高めた農産物ポップアップストアの開設 ・商業施設等と連携したメニューフェア(メロン、イチゴ、さつまいも)による認知度及び付加価値向上策 ○就農意欲の喚起、人材育成、担い手確保 600,000円 ・市内学生向け食育事業の企画運営による「シビックプライド」の啓発及び啓発グッズの製作。 ・生産者講演会、生産者研修、就農支援の情報発信強化を実施し、人材育成・担い手の確保を図る。 ○消費拡大・需要喚起事業 8,395,000円 ・販売促進資材の利用促進及び掲出協力者(店舗・個人)の開拓 ・生産者と連携した消費宣伝、海外販路開拓・拡大等に取り組むことで、消費拡大を目指す ■シティプロモーション事業 4,950,110円 これまでに作成したツールを活用し、農村部は都市住民に対し新しいライフスタイルを通じて自己実現できる場として、SNSやwebページも有効に活用しながら広くプロモーションし、移住・定住の促進を図る。また、都市部の若い女性の視点による若者が農業に興味を持てるシステムづくりを図る。オンライン等のツールを活用し、コロナ禍において移動が制限される中であっても、銚田市を知ってもらう機会づくりを図っていく。 ・若者目線による移住・定住プロモーション事業 2,485,110円	■一般社団法人銚田市観光物産協会の運営に係る経費 21,000,000円 茨城DC期間における農業×観光の商品開発及び販売の推進。 指定管理直売場運営の収益性向上。 観光案内及び移住定住促進を目的とした職業案内に関する窓口を新設。 地域経済の活性化、魅力あるまちの創出に向けた事業の新規検討。 運営補助金 21,000,000円（人件費 18,100,000円 事務費 2,900,000円） ■販路拡大支援事業 9,889,000円 ○国内外への販路拡大のための対事業者を中心とした市内農産物等の認知度向上 8,888,120円 ・飲食店等における市内農産物等を使用したメニューフェア等の開催 ・対象国の輸入事業者に向けたサンプリング提供等の実施 ・ライブコマース（ネット通販）等の実施 ○販路拡大を図る生産者の担い手確保やスマート農業の推進 1,000,880円 ・若手農業者就農例を記載したリーフレット等の配布 ・ドローン農業散布実演研修会の実施 ■地域資源魅力発信（シティプロモーション）事業 22,891,131円 ○銚田市に住む人や物など地域資源の魅力を伝えるイベント、交流事業の開催 10,848,044円 ○プロモーション動画の活用やイベント出展等を通じた地域魅力の市外部への発信 12,043,087円

令和６年度の実施内容（予定） ※総事業費54,000千円（内、交付金27,000千円）
■一般社団法人銚田市観光物産協会の運営に係る経費 21,000千円 茨城DCアフター期間における農業×観光の商品の磨き上げ及び 茨城DCを踏まえた新規観光商品の開発。 指定管理直売場等の集客力向上施策の実施。 観光案内及び職業案内に関する窓口運営。 地域経済の活性化、魅力あるまちの創出に向けた新規事業実施。 運営補助金 21,000千円（人件費 16,800千円 事務費 4,200千円） ■販路拡大支援事業 10,000千円 ○国内外への販路拡大のための対事業者を中心とした市内農産物等のさらなる認知度向上 9,000千円 ・飲食店等における市内農産物等を使用したメニューフェア等の開催 ・対象国の輸入事業者に向けたサンプリング提供等の実施 ・ライブコマース（ネット通販）等の実施 ○販路拡大を図る生産者の担い手確保に向けた情報周知の強化やスマート農業の導入に向けた講習会の実施 1,000千円 ・若手農業者就農例を記載したリーフレット等の配布 ・スマート農業研修会の実施 ■地域資源魅力発信（シティプロモーション）事業 23,000千円 ○銚田市に住む人やモノなど地域資源の魅力を伝えるイベント、交流事業の開催 10,850千円 ○プロモーション動画の活用やイベント出展等を通じた地域魅力の市外部への発信 12,150千円